

日本植物病理学会第10回植物病害診断教育プログラム

開講のお知らせ

植物病理学は、疾病の原因となる要因の同定から始まり、病原体の病原性や植物の病気に対する抵抗性などを研究する基礎的な分野から、如何にして病気を抑えるかを研究する応用的な分野までを含む非常に幅の広い学問です。植物病理学の専門教育や基本的な実験手法を学ばれなかった方々が、農薬会社や種苗会社のような植物病理学に関連した企業や県や国の試験研究機関の技術者に配属された場合、農業の現場で植物病理学ならではの特殊な知識や実験技術の必要性に直面します。また、それにより植物病理学という世界が実にとっつきづらい、特殊な世界であると思われがちです。日本植物病理学会では、こういう方々を対象に、植物病理学の最も基本的な技術である「病害診断の技術」を学んでいただき、少しでも植物病理学の楽しさに触れて貰おうと、平成16年度から毎年教育プログラム（現在は植物病害診断教育プログラム）を開講してきました。

本年度も、菌類、細菌、線虫、ウイルス、ウイロイドなど様々な病原に起因する病気と類似障害など、実物サンプルの観察や実習を通して病害診断の基本に触れる機会を企画しました。

本プログラムにご興味のある方の参加を募ります。なお、受講者には修了証を交付します。

受講対象：本学会会員と非会員（若手・社会人を優先します）

募集定員：20名

開催時期：平成26年8月25日（月）から8月29日（金）までの5日間

開催場所：弘前大学農学生命科学部（〒036-8561 弘前市文京町3）

受講費用：本学会会員 20,000円（学生は10,000円） + 懇親会費 4,000円（予定）

非会員 40,000円（学生は20,000円） + 懇親会費 4,000円（予定）

（旅費・宿泊費は別）

申し込み：実行委員代表（弘前大学農学生命科学部、生物資源学科・佐野輝男）

メール（sano@cc.hirosaki-u.ac.jp）あるいはファクス（0172-39-3817）で、氏名、勤務先（学校名）とその所在地、メールアドレス、電話番号、受講希望理由を明記の上、6月2日（月）以降に申し込んでください（事前の申し込みは受け付けません）。

問い合わせ：佐野輝男まで、メールかファクスでお願いいたします。

なお、受講予定者には、後日詳細情報をお送りします。

プログラム（予定）

8月25日（月）

9:20～	9:30	開会挨拶 実行委員代表	佐野 輝男
		学会長挨拶	土屋 健一
9:30～	12:00	顕微鏡操作、試料観察の基礎	田中 和明
13:00～	17:00	水稻の病害診断（育苗期病害の診断）	藤 晋一・倉内 賢一
18:00～	20:00	懇親会	

8月26日（火）

9:00～	12:00	花卉類・野菜類の病害診断	長谷 修・菅原 敬
13:00～		花卉類・野菜類の病害診断（つづき）	
	17:00	病原菌類の分類同定法	田中 和明

8月27日（水）

9:00～	12:00	果樹類（りんご）病害の観察と診断	赤平 知也（糸状菌）
13:00～	17:00	（糸状菌・ウイルス・ウイロイド・類似障害）	伊藤 伝（ウイルス）・佐野 輝男（ウイロイド）

8月28日（木）

9:00～	12:00	線虫病の診断（線虫病の概略と顕微鏡観察）	山下 一夫
13:00～	17:00	（ネコブ・イモグサレ線虫のPCR診断）	

8月29日（金）

9:00～	11:30	ウイルス病の診断	磯貝 雅道
11:30～	12:00	修了証授与式・閉会挨拶	